

# 授業中、落ち着きのない児童への指導

徳部会 智恵文小

## (1) 原因

### ① 好奇心が強い

感情のコントロールが苦手で、気になるものがあると、興味がそちらに移ってしまう。

### ② 自己主張

物事を思い通りにしたいという要求が強く、大声を出したり暴れたりすることがある。



### ③ ストレス

うまくストレスを発散させることができず、落ち着きのない行動として表れる。

### ④ 関心を引きたい

家庭環境の変化などから、大人の関心を引きたいという欲求が生まれ、落ち着きのない行動をとるケースがある。

### ⑤ すべきことがわからない

課題や方法がわからないという困り感が、落ち着きのない行動に結びつく場合がある。

## (2) 対応例

- 遊びたくなるもの、気になるものが目に入らないよう配慮する(集中できる環境作り)
- 押さえ込むとエスカレートするケースもある。気持ちをそらす
- 環境の変化などに対する心のケア
- 短くわかりやすい支持、視覚情報の活用、見通し
- 我慢できる年齢になるまで、気長に見守る。

## (3) チェックリスト

- ① 操作活動、学習遊び、ゲームの要素を取り入れていますか？
- ② 指示・発問が適切ですか？
- ③ 授業中、励ましの言葉をかけていますか？
- ④ 座席の位置は適切ですか？
- ⑤ 注意をそらしてしまう物はありませんか？
- ⑥ 児童のささいな変化や家庭の様子に気を配っていますか？

